

山形県感染症発生動向調査

令和5年第15週(令和5年4月10日～令和5年4月16日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
URL <https://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
2023年4月19日 発行



<定点把握感染症>

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
	第14週	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	第14週	第15週	増減	
インフルエンザ定点(定点医療機関数)		(43)			(9)			(10)			(4)			(8)			(12)			
インフルエンザ	13580 2.77	479 0.11.14	280 6.51	▼	136 0.15.11	59 6.56	▼	93 9.30	30 3.00	▼	33 8.25	38 9.50	▲	130 0.16.25	115 0.14.38	▼	87 7.25	38 3.17	▼	5477
小児科定点(定点医療機関数)		(28)			(6)			(7)			(3)			(5)			(7)			
RSウイルス感染症	1662 0.53	3 0.11	3 0.11					2 0.29	2 0.29								1 0.14	1 0.14		165
咽頭結膜熱	539 0.17	4 0.14	9 0.32	Δ	1 0.17		▼		1 0.14	Δ				3 0.60	6 1.20	▲		2 0.29	Δ	66
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1537 0.49	10 0.36	9 0.32	▼				2 0.29	4 0.57	Δ				8 1.60	5 1.00	▼				177
感染性胃腸炎	11647 3.72	62 2.21	70 2.50	Δ	12 2.00	16 2.67	Δ	22 3.14	18 2.57	▼	1 0.33	3 1.00	Δ	20 4.00	17 3.40	▼	7 1.00	16 2.29	Δ	2890
水痘	301 0.10	2 0.07	2 0.07											2 0.40	2 0.40					32
手足口病	295 0.09	1 0.04		▼	1 0.17		▼													14
伝染性紅斑	30 0.01																			3
突発性発しん	752 0.24	4 0.14	7 0.25	Δ		1 0.17	Δ		2 0.29	Δ	1 0.33	1 0.33		3 0.60	3 0.60					149
ヘルパンギーナ	319 0.10																			1
流行性耳下腺炎	95 0.03		1 0.04	Δ								1 0.33	Δ							15
眼科定点(定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	4 0.01																			0
流行性角結膜炎	191 0.28																			9
基幹定点(定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2 0.00																			1
クラミジア肺炎																				0
マイコプラズマ肺炎	10 0.02	1 0.10		▼	1 0.50		▼													1
細菌性髄膜炎	7 0.01																			3
無菌性髄膜炎	14 0.03																			0

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、Δ:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
梅毒					1	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1	※第13週 追加報告分 90日以内の海外渡航歴:無し

<通信欄>

※インフルエンザ情報(第15週)

医療機関におけるインフルエンザの迅速診断キットによる型別はA型278件、B型2件です。
集団発生の報告は2件で、最上保健所から1件(小学校)、置賜保健所から1件(保育所)報告されました。
県衛生研究所のウイルス検査において、今シーズンの患者から、AH3が75件、AH1pdm09が2件検出されています。

※警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ		5	11	23	35	27	41	23	11	15	24	30	6	6	280
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
	11	6	1	4	1										
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1		2												3
咽頭結膜熱			3	1	2	2	1								9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					2	1	1	2	1		1	1			9
感染性胃腸炎		5	8	9	5	14	11	6	4	3	4	1			70
水痘										2					2
手足口病															0
伝染性紅斑															0
突発性発しん		3	4												7
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎							1								1

< 令和 5年 3月 月報 >

2023年4月19日 発行

疾患名		山形県		山形市保健所		村保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)
		2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月	
STD定点 (定点医療機関数)		(9)		(3)		(1)		(1)		(1)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	17	19	7	11	3	1	1	1	2	2	4	4	55
	定点当り	1.70	2.11	2.33	3.67	3.00	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00	1.33	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	3	5		1			1	1			2	3	12
	定点当り	0.30	0.56		0.33			1.00	1.00			0.67	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数	2	3							1		2	2	7
	定点当り	0.20	0.33							1.00		0.67	0.67	
淋菌感染症	報告数	3	4	1	1		2			1		1	1	10
	定点当り	0.30	0.44	0.33	0.33		2.00			0.50		0.33	0.33	
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	4	3	1				1	1			2	2	13
	定点当り	0.40	0.30	0.50				1.00	1.00			0.67	0.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	10	12	2	2		2	2	2	1	1	5	5	33
	定点当り	1.00	1.20	1.00	1.00		1.00	2.00	2.00	0.50	0.50	1.67	1.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													0
	定点当り													

< トピックス >

令和5年4月より
**9価の「HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチン」を
 公費で接種できるようになりました**

子宮頸がんで苦しまないために、できることが**2つ**あります
ワクチン **検診**

① 今からできること

日本では、小学校6年～高校1年相当の女の子を対象に、子宮けいがんの原因となるHPVの感染を防ぐワクチンの接種を提供しています。HPVの感染を防ぐことで、将来の子宮けいがんを予防できると期待されています。カナダ、イギリス、オーストラリアなどでは女の子の8割以上がワクチンを受けています。



② 20歳になったらできること

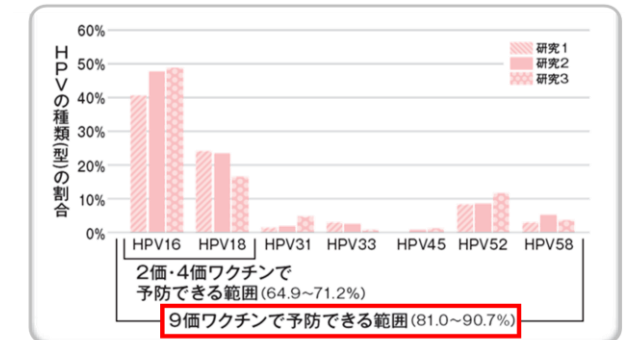
HPVワクチンを受けていても、子宮けいがん検診は必要です。2年に1度検診を受けることが大切です。



9価の「HPVワクチン」とは？

HPVワクチンは、子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルスの感染を防ぐワクチンです。

ワクチン接種により、子宮頸がんの原因の80～90%を占める、7種類のHPVの感染を予防することができます。



「9価ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン ファクトシート」(国立感染症研究所)をもとに作成
 研究1: Onuki, M., et al. (2009). Cancer Sci 100(7): 1312-1316.
 研究2: Azuma, Y., et al. (2014). Jpn J Clin Oncol 44(10): 910-917.
 研究3: Sakamoto, J., et al. (2018). Papillomavirus Res 6: 46-51.

HPVワクチンについて、詳しい情報は
 厚生労働省のホームページをご覧ください



厚生労働省HPより抜粋・一部改変